

株式会社沢田電設



<主な業務内容>
電気・通信・消防設備工事
の施工等
<KES ステップ 1 登録日>
2007年 1月 1日



環境管理責任者の澤田様

今回お邪魔したのは、大隅の鹿屋市から志布志方面へ向かう途中の串良町にある「株式会社沢田電設」さんです。

久々の雲ひとつない快晴。しかし、連日の桜島の降灰で、走る車が灰を巻き上げる中、伺いました。

更なる活動の活性化

KES を始めるきっかけは、鹿児島電気工事業協同組合の説明会で、取得から6年目。取り組み当初は、燃料使用量が40%、電力使用量が50%と大きく削減できました。「最近、取り組みもマンネリ化しています。今後どういう取り組みをしたらよいのか、色々教えてほしいというのが本音です。」というお話から始まりました。そこで、活性化で工夫されている、KES 登録事業所での事例等を話しました。

社長や環境管理責任者が環境宣言を、熱意を持って、継続的に伝える社内での、また社外とのコミュニケーション能力や密度を高める
毎日の1分間スピーチ・教育内容の感想記述・環境影響評価や改善施策についての論議等。地道だけど継続的取り組みが、お客様からの評価や営業成績等にもつながっている。
教育+役割分担

KES 規格やマニュアルを責任者クラスに継続的に教育するとともに、定期的に責任者を変える。そうすることで、いろんな目線で取り組めてレベル向上のきっかけにも繋がる。また、動画の活用や社員のエコ検定取得比率を目標設定する等





目標設定の工夫



取り組みの成果を上げていく為に、「数値ばかりを見るのではなく、プロセスを細分化して、プロセスの管理を大切にすることが重要。また、目先・短期的な効果だけでなく、中・長期的な視点で、事業の環境配慮・生産性向上や地域貢献活動を進めていくことで、社員が仕事に誇りを持って、会社に対する貢献する気持ちが高くなりますよね。」と穏やかな口調の中にも、しっかりとした方針が伺えました。



達人の域



広い敷地内にある、事務所横の大きな建物内を見学させていただきました。普段見ることのない材料や色々な種類の電線が整然と並んでいました。

見事に整理整頓されており、思わずシャッターを切るのを忘れて見とれてしまいました。

「社長の方針です」と澤田様。方針も「収納の達人」の域まで徹底されていました。

また別棟にスコップと脚立、コーンまでご覧の通り。仕事道具とはいえ、ここまで物を大事にされると、自然とお仕事も丁寧になり、お客様を大切にされているのだろうと感じました。

敷地内では「シイタケ栽培」「野菜作り」「養鶏」もされているとのこと。

「野菜をもらったり、たまごを分けてもらったり・・・助かりますよ。」と土地の有効活用をされ、エコライフを実践されていました。



今回、こちらのご提案も含めながらのインタビューでしたが、澤田様の言葉数は少ない中にも、物腰の柔らかさと謙虚さが伝わってきました。

今回も貴重なお時間に、取材へのご協力いただき本当にありがとうございました。

武田